



# OB 会だより

国臨協 OB 会関東信越支部

平成30年5月1日  
 発行責任者：岩村義昭  
 編集責任者：三浦隆雄  
 国臨協 OB 会事務局  
 千葉県市川市東国分 2-1-26  
 TEL：047-372-0713



## 会員各位

会長 岩村義昭

風薫る5月。爽やかな季節となり、青葉若葉の緑が目にと軟らかく入り込む。

会員の皆様にはお変わりなく、元気でお過ごしのことと思います。

平昌での冬季オリンピック・パラリンピックの熱気と、日本人選手の活躍がいまだ記憶に新しい。フィギュアスケートの羽生結弦選手、スピードスケートの女子選手の大活躍、高梨沙羅選手の銅メダル、またカーリング女子の劇的な結末で、この競技の面白さ・奥深さを感じ、競技人口が増えそうだという。春は選抜からの言葉通り、高校野球の熱戦、プロ野球、メジャーリーグの開幕、サッカー、水泳と観るにしろ、自らやるにしろいい季節となりました。

スポーツはほんとうに楽しい！

新しい元号の発表が来年2月頃にはあるということで、どんな文字になるか？天皇名で一番使われている漢字が“明”だそうだが明るく画数の少ない方がいい。

さて、今年も総会を下記の通り開催いたします。平成最後のOB会総会・懇親会という事になります。どうか多数御参集いただき、懇親を深めてくださることを期待いたします。出欠を同封のハガキにて、近況を添えて5月20日までに返送くださるようお願いいたします。

今回も文化祭(作品展)を行いますので、出展くださるようお願いいたします。

なお長寿祝いの該当者は今回左記の通りです。ハガキに生年月日をお書きください。

記

日 時：平成30年6月2日(土)12:30 開始

場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

JR市ヶ谷駅下車 徒歩2分

千代田区九段北4-2-25

☎03-3261-9921

会 費：10000円

(年会費3000円、懇親会費7000円)

出欠ハガキ締め切り日：5月20日(必着)

90歳以上のお祝い：

昭和3年以前にお生まれの方

85歳のお祝い：昭和8年1月1日～

12月31日の間にお生まれの方

80歳のお祝い：昭和13年1月1日～

12月31日の間にお生まれの方

\*\*\*\*\*

## 野草の魅力

上杉健治

\*\*\*\*\*

紹介する写真は以前 NPO 野草フォトクラブの仲間たちと四季折々の野草の撮影会に出かけた時の写真の一部です。

会の目的は野草観察の知識、カメラの撮影技術、快適なパソコン操作の向上で、仲間たちと親睦を深め楽しく過ごすことです。

展示会では花の名前の由来や特徴などを調べ、公共施設、介護福祉施設等を開催し、また地域新聞への掲載、ホームページでも多くの方々に野草の魅力を紹介してきました。

野草は地味な花が多く目立たない存在ですが厳しい自然環境の中で人知れず逞しく生き生きと咲いています。その美しい姿に出会えたときは何か感慨深いものがあります。現在は退会し撮影会は遠のいていますが、絶滅危惧種の野草も見かけることもあり見守って行きたいものです。

\*\*\*\*\*



ヒガンバナ（彼岸花） 調布市野川公園（9月）  
撮影者 上杉健治

### 花の由来と特徴

花がお彼岸の頃咲くことからついた。別目曼珠沙華は梵語で赤い花の意味。全草有毒。田のあぜ、土手、道端に生える多年草。葉は花後に伸び始め冬越しして夏に枯れて株は休眠する。埼玉県日高市巾着田が名所。



ヤマジノホトトギス（山路の杜鵑草） 武蔵野森林公園（9月）撮影者 上杉健治

### 特徴

草丈20～50cm程の多年草。径2cm程の花を上向きに2個ほど付ける。初秋に咲き花柱は1cm程直立して斑点がない。花被片は水平に開き紫色斑点があり、先端は下向きに湾曲している。



ヒレアザミ（緒薊） 利根運河（4月） 撮影者 上杉健治

### 花の由来と特徴

茎にヒレがあり花がアザミに似ていることから。山麓や野原、川の堤防や道端に生えるキク科の越年草。茎は直立して高さ1m内外。縦に2条の翼をつける。翼に棘があり葉は互生する。花期は5～7月。

\*\*\*\*\*

## アコーディオンと私

堀口日出子

\*\*\*\*\*

OB会の皆さま、ご無沙汰いたしております。  
なかなかOB会に出席する事がかなわず、今回、岩村会長より原稿の依頼を頂きましたので、近況と第2のライフワークを書かせて頂きます。

2011.3.11 東日本大震災の1年前、2010.3.31に水戸医療センターを定年退職いたしました。その後、しばらくは次男が経営する接骨院でお手伝いをしていました。しかし、哀しいことに「バイトを雇うからもう大丈夫」と言われました。原因には公務員誰しもありがちな上から目線もあったようです。

それからは、長年ほっておいた家の片づけ、公民館主催の講習会などに顔を出してみたりしていました。

退職した年の12月から民生児童委員を委嘱され、息子たちが小学生時代の育成会活動以来の町内活動を始めました。民生委員は一生懸命になればなるほど、仕事量が増え活動時間も増えてきました。

そんな折り、家の建て替えに合わせて長男家族が同居することになり、今では6人と犬1匹の大家族です。同居してから1年たった頃、長男の嫁が体調を崩して、大家族の主婦というか、民宿のおばさん状態となりました。今では長男の嫁もだいぶ回復して勤めにもいけるようになりました。

前置きが長くなってしまいました。

「趣味は？」と聴かれると、必ず「音楽鑑賞です。」と、答えていた私でした。今の私は、「アコーディオンを通して、音を楽しんでいます。」と答えています。

アコーディオンとの出会いは数年前になります。退職した年の12月から地域の民生委員を受けていた時、高齢者対象のいきいきサロンをこの町内に立ち上げました。先輩の民生委員から教えて頂き、平成25年4月、高崎アコーディオンサークルに訪問演奏のお願いをしました。人の心にしみ込んでくるようなアコーディオンの音色に魅了され、習ってみよう決心。サークルの方に話をしてみたところ、

締切は過ぎているけど、これから青年センターの初級教室が始まるから聞いてみると良いよ・・・と素敵なお兄さんが教えてくれました。

平成25年4月に高崎青年センター主催の初級教室に入り、同年7月から高崎アコーディオンサークルの初級教室、翌年の3月から中級教室に入り現在に至っています。アコーディオンは小さなオーケストラとも言われています。右手でメロディー、左手でベースリズムを刻んで独奏ができます。大勢で合奏、うたごえの伴奏もできる素晴らしい楽器です。群馬県内には10か所にアコーディオンサークルがありますが、高崎アコーディオンサークルは、現在会員数が50数名の比較的大きなグループです。社会福祉協議会のボランティア団体に登録しており、老人福祉施設・障害者施設・地域行事・いきいきサロン・健康教室等々に年間150回以上の訪問演奏活動を行っています。私は月5、6回演奏に参加しています。

日航ジャンボ機が墜落した御巣鷹山の慰霊登山は、ニュースや新聞などで報道されご存知の方もおられると思いますが、高崎アコーディオンサークルは、3回忌からアコーディオンを担いで御巣鷹山の尾根で慰霊演奏をしてきました。

アコーディオンは重く、登山がだんだん難しくなり、一昨年の30回忌を最後に麓の神流川で行われる灯籠流しでの慰霊演奏のみとなりました。

2011.3.11 東日本大震災で避難を余儀なくされ、福島県双葉町の障害者施設・友愛会光洋愛成園の入所者たちが、国立のぞみの園(旧国立コロニー)に避難されていた間も訪問演奏に伺っていました。その後、福島県の広野町に新施設が出来上がり皆さん戻られ、昨年20数名のメンバーで広野町の新しい施設に伺いました。アコーディオンの演奏で歌を唄い、久しぶりの再会を喜び合い親しみのある交流の時を過ごすことができました。

訪問演奏などのサークル活動は昼間の行事ですが、毎週水曜日の例会を始め、色々なグループの練習がほとんど夜6時半からです。私自身、夜出かける事も多く、大家族の夕飯をこしらえてから出かけています。大家族だから、主人はひとりにならず、家族に感謝しています。

昨年の4月からプロのアコーディオン奏者のレ

ッスンを受ける機会に恵まれました。今年の4月からは初級教室の主任講師をさせていただく事になり、ますます第2の人生が充実してきそうです。

私の今年の目標は『和顔施』です。

仏教にある無財の七施のひとつです。

日野原重明先生は、

誰に会ってもやさしい表情を見せることで相手の心が和む。

瀬戸内寂聴さんは

心が笑顔でないと、顔は笑顔にならない。

アコーディオンを通じて多くの人と出会い、少しでも多くの人に笑顔を届け、誰かのお役にたてればと思っています。



\*\*\*\*\*

## 看護師という名称の発案者は誰だ

佐藤乙一

\*\*\*\*\*

「それはこの僕だ」ウソではない。その証拠をお目にかけよう。夫、婦、不、夫まだあるね。訃も。だがこれはよしておこう。そのかわり富がいいね。トミともいって豊かにすることだから。それって看護師と関係あるのか。ただ夫を論じたかったから、その比較として出しただけ。特に関係はない。

この看護師はもと、看護婦と呼んでいた。

私は衛生検査技師法の立法はもちろん、臨床検査技師法に改めるとき、少しかかわった。だから他法と比較検討を、それこそ目を赤くして取り組んだ。そこでひっかかったのが、この婦の字だった。雑仕婦、病棟婦、清掃婦、本職として、またアルバイトとして従事している人も多い。だが事務屋さんより少し低いのが気にかかる。ここで問題にしたいのがこの婦というわけだ。今日（コンニチ）新聞紙上を賑わしている、日韓関係のひとつにもなっている、この婦の問題がある。レベルが高くて低い話だ。私が上部機関の役所に併任しているとき、ある本に「これはおかしい。この名称に甘んじているの？」と言わんばかりの論文を載せてもらったことがある。（医療の広場 平8・10月号（1996・10））

\*\*\*\*\*

題して「保助看法を読み続けて 30 年 ある医療関係者のひとりごと」ここで「（士）より（師）の方がいい」とまで言いきってしまった。時の厚生省には看護課あり、今もある。この師論が「そうね」ということになったとは、当時の人の話。だが偶然の一致でこの頃すでに、どこかで検討しているところがあったのかもしれない。

民主主義っていいね。何を言うのも書くのも自由だから。でも青空天井の自由じゃないんだ。ちゃんと前置きのある自由というわけだ。じゃあその前置きとは何だ「公共の福祉」という帽子をかぶっているのだが、その話はいずれ又。こんなことを考えていたとき、頭に浮いた表現に、もうひとつ師と士がある。多くの人がいろんな自分的定義を説明しているが「ウン、ソウダロー」と納得させるような説明を見たことがない。

そりゃあそうだろう看護の問題は終戦のとき、アメリカの看護制度の専門家が来日。いろいろ発言しているが、ここはその説明の場ではないから省略する。ではまた。



\*\*\*\*\*

## 退職して10年を振り返り

元国立療養所栗生楽泉園：大野 清

\*\*\*\*\*

「十年一昔」と言われるが、定年退職して早くも10年の年月が経って、古希を迎えた。当時の病院、療養所の施設（8施設）や、先輩、同僚、後輩の皆様を懐かしく思い出している。退職してから介護の仕事に従事しているが、医療現場での知識や経験が生かされて、スムーズに業務できていることに感謝している。

デイサービスセンターに勤務しているが、利用者は80～90代の高齢者や超高齢者が元気に過ごしている。「人生100年ライフ」の時代が訪れるのは遠くないと実感している。

介護職として介助、送迎、リハビリ体操、レクリエーション活動などを担当している。リハビリ体操は手遊び、リズム、歌、棒体操などで、午後の活動はゲーム、習い事、ボランティアの受け入れ、カラオケ、脳トレなど、利用者が楽しく有意義な一日が送れるように努力している。

私はレクリエーション活動の一環として「ハーモニカ」、「マジック」、「紙芝居」、「写真」などを披露している。ハーモニカは童謡・唱歌、歌謡曲、季節感のある曲など、親しみやすい歌を伴奏したり、名曲を独奏して聴いて頂いている。利用者から「楽しかった」、「良かった」、「昔を懐かしく思い出した」、「また聴かせて」など感謝の言葉を掛けられると嬉しい。

マジックはシルク、ロープ、カード、科学手品などステージマジックを魅せている。紙芝居は利用者が喜ぶような、伝記や人情物などを図書館で借りてくる。写真は風景、スナップ、ポートレートなど撮りためたものを魅せて、職場の一角には写真コーナーがあり展示している。趣味の一つで写真は、埼玉県美術家協会の会員として、埼玉県美術展覧会に出展して技術の向上に努めている。

また、ハーモニカを習いたい利用者のために、「ハーモニカ教室」を開いている。利用者が吹けた時の表情は嬉しく笑顔になり、感謝されるのは私も喜びでもある。

ボランティア活動も社会福祉協議会に登録しており、メンバーや個人で、介護施設、公民館、いきいきサロン（オレンジカフェ）、成人学級、子ども会などで活動し、月数回の依頼がある。

地元地域のつながりも大切にしており、「公民館まつり」の出演や「子ども育成会」の協力、「地域ふるさと出前講座」の講師として依頼もあり、地域に根づいた活動を目指している。

我々はこれまで高度成長を支えて貢献してきたが、バトンタッチの世代になってきた。少子高齢化が進み次代に負担を掛けないためにも、アクティブシニア（元気な高齢者）が、少しでも社会貢献することが求められている。

退職後の10年間は、健康にも恵まれ仕事やボランティア活動が出来て、充実した時期を過ごせたと思っている。これも何かとアドバイスや励ましてくれる、一番の理解者である妻のお蔭で感謝したい。今後の人生も、これまで築いてきたことを一層充実させるために努力をしたい。それには、心身共に健康的な生活をし、生涯現役を目指して、何事も悔いのないようにチャレンジ精神で頑張りたい。



\*\*\*\*\*

## 悠久の「上野三碑」(こうずけさんび)

～1,300年前のロマン～

元・がんセン中央・高橋正雄

\*\*\*\*\*

上野三碑は、群馬県(上野国)高崎市にある、1,300年前の飛鳥時代から奈良時代に建立された日本最古の石碑群で、漢文が刻まれた3基の石碑は、多胡碑、山上碑、金井沢碑の総称で、それぞれ瀟洒な覆屋に安置され、およそ3キロの範囲内にあります。いずれも国の特別史跡に指定されており、2017年にはユネスコ世界の記憶に登録されました。

既に「アンネの日記」や「ベートーベンの第九交響曲自筆楽譜」などが登録されています。

正月2日、穏やかな好天に恵まれ、よく整備された道程と行き届いた案内板に導かれ、マイカーでゆっくりと巡ってきました。

沿道には30基ほどの雅な歌碑やいくつかの古墳なども点在しています。

**多胡碑(711年)**の由来は、多胡郡が建郡されたことを記念してたてた石碑で、刻まれた漢文は7～8世紀から現在まで日本や中国の「書」の手本になっています。その優れた書体は今も多くの書家達に愛好されていて、多胡碑記念館に拓本などが展示されています。

まさに一級の史書、古典と云っていいでしょう。

多胡碑には、これから紹介する二つの石碑とは異なった特徴があります。花崗岩で直方体に加工したことから、上州名物空っ風や吹雪から守るように、笠石が載っている独特な石碑でもあります。

多胡碑には、終戦秘話があります。進駐軍によって没収されるのではないかと危惧した文部省の指令もあって、村人達が桑畑に深い穴を掘って隠存し、大根やほうれん草などを栽培しました。

最近になって隠存した場所が発見され、その場に建立しました。

多胡碑の現代史や来歴を知る意味でも貴重な発見とされています。

**金井沢碑(726年)**は、一族が天地に誓い、仏教による一族の絆をかため、先祖の供養とこれからの繁栄を願った石碑であると同時に、当時の家族制度のあり方、地方での戸籍作成の実例としての学史的意義など、希少価値の高い歴史遺産だと評価されています。

**山上碑(681年)**は、亡き母への思いを刻み、僧になった息子が建てた石碑で、日本語の語順で漢字を並べたことは、日本語誕生の時代を表す歴史的資料で、完在品では国内最古の石碑です。

三碑の納まる覆屋の正面に、石碑を照らす照明と、音声による解説の押しボタンがあります。

テーブルの上に、スタンプラリーの用意もなされ、一巡して三碑の印が揃いますと、上野三碑のロゴ入りのトートバッグがゲットできる楽しみもあります。

また、2カ所は丘の上で、少し長い石段になっていますが、しっかりした手摺りと、登り口には何本かの杖が備えられていて、地域の人々の誇りと温い心遣いが感じられました。

三碑それぞれの近くに、万葉歌碑でしょうか、古文にした30基ほどの石碑がひっそりと建っています。その一つに、なんと全文カタカナの石碑がありました。

カタカナは韓国起源で新羅から奈良時代の日本へ伝えられたそうです。解説ボードによりますと、「あすか河、塞くと知りせばあまた夜もい寝てこましをせくと知りせば」現代語訳が続きます。「二人の仲がひきさかれる定めだと、それがわかっていれば、幾夜も幾夜も供養をしたものを、あゝ」。石碑に残すほど、恋い焦がれた乙女の哀愁が胸にこみ上げ、しばし佇んでしまいました。

上野三碑は、誰かを連れて行って話をしたくて堪らなくなるような、そんなロマンと魅力をもった里といえるでしょう。

3月の日曜、群馬音楽センターで、ユネスコ「世界記憶の登録記念式典」と学者による『世界の記憶』——事業と意義と上野三碑——の特別講演があり、また一段と深堀したくなりました。

## 上野三碑アクセス

**電車**・JR高崎駅0番線から上信電鉄、下仁田駅行。沿線に上野三碑に近い駅があり、型の違った色とりどりの電車が走っていて、「撮り鉄」がぞろぞろ、ローカル線の車窓からの眺めもまた旅情を誘います。ほかにもバスの便もあります。

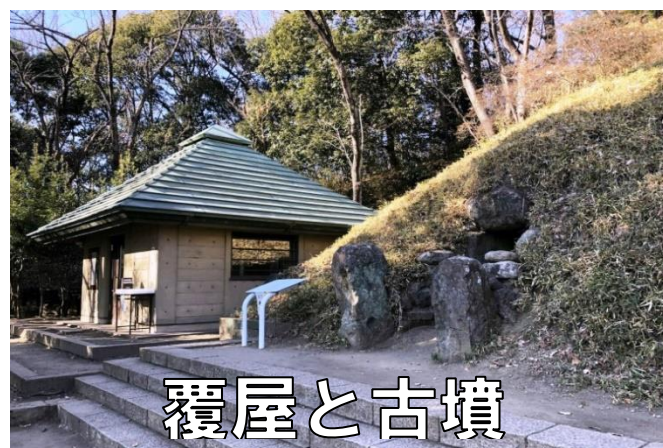
**トロリーバス**・小型のバスが三碑を循環します。次のトロリーバスの時刻表を確かめて見学すると便利です。

**マイカー**・関越自動車道、藤岡ICで上信越自動車道へ、富岡ICをおりて一般道へ。

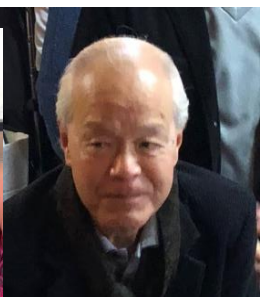
**付記**・三碑巡りで少し足を延ばせば、2014年ユネスコ世界遺産に登録された「富岡製糸場」があります。近代的な工業制度を日本にもたらした広大な工場内に、ずらりと並んだ糸繰り機器には圧倒されます。それに美しい木骨煉瓦造りの工場など見どころ一杯で、解説員の説明も秀逸です。

小林茂美の小説「あゝ野麦峠」副題一ある製糸女工哀史一とは、近代日本への急激な変転もありますが、また違った視点が広がるのではないのでしょうか。

吾が故郷「上野の国」へぜひお出かけください。



## 投稿写真



2018年2月24日開催



## 叙勲

平成29年 秋の叙勲

藤井春男さん

元国立国際医療センター病院臨床検査技師長

瑞宝単光章を受章されました。

永年のご功績に敬意を表し、心からお祝い申し上げます。

## 編集後記

今年もOB会総会・懇親会には、多数の皆様の参加をお待ちしております。

今回より、OB会だよりの編集・印刷・発送作業は、浅里さん、大貫さんのお力をお借りし分担して行うことになりました。よりよい紙面となるかどうかは、・・・・投稿原稿次第です。よろしくお願いいたします。（記 三浦隆雄）

**29年度会費を未納の方は  
同封の振込用紙で納入くださる  
ようお願いいたします。**